平成26年度 成果報告書
学校名 戸塚区 深谷台小学校
校長名 齋藤 正子

単元名「里山で学校を守ろう」〜里山からつながる出会い・みんなが幸せな社会をめざして〜
4年2組の活動報告

I 活動のきっかけ
昨年度に引き続き、学校の裏山を整備する活動をしていました。昨年度は、山を整備し、維持して行くことで、豊かな木を創ることを学んできました。裏山の下を流れる川にも着目している児童も出てきて、川をきれいにしていきたいという思いも芽生えてきました。そこで今回、4年生ということもあり、近くの民家から出される下水道にも注目させ、川をきれいにしていく活動を、山と併せてやって行なってきた。川の掃除を土木事務所の方と行い、社会科の授業で上下水道の仕組みも補足して行った下水処理の方法や水ができるまでの学習をした。山と木と水の関係が大切であることを再認識した上で、山の整備もして、植樹もすることができた。今年度も、10万円の助成金により、ダイナミックな活動へと広げられた。

II 具体的な活動と成果
4月の理科の学習では、グループで季節の生き物を探しに学校の里山に入った。若葉が芽吹き、木の隠れ家が見られ、山の傾斜にはミツバチの巣箱や、稚雉のはだしが置いてある里山がどの子も大好きになった。
「横浜の時間」では、この里山を使ってグループで春のネイチャービンゴをした。触れたり、においをかいだり、音を聞いたりと、五感を使って活動をしていく中で、里山に鳥を呼ぶ巣箱をつけたいという思いも芽生えた子どもたちもいた。図工の「のこぎり」の学習では、「里山に鳥の家を作るんだ。」と、チームを作って巣箱を作り巣箱を設置した。しかし、夏になり、里山は草に覆われ足場が悪くうまく行かずに荒れてしまいました。その状態をみてどうにかしたいと思った子ども達は、活動できる足場を作り、昨年植えた木に日が差すように、下草を刈る計画を立てた。足場も悪く、自分の身長以上の草を刈るには、自分たちだけでは無理だと判断した。地域の人や技術員さんに呼びかけて草刈りを実施した。3年で植樹をした時、学校が傾斜地に建てているので、木の根で学校を守ると良いことを思い出し、植樹の木を育てている進学団にお願いをして、一緒に植樹をすることができた。また、社会の「防災」や「水を大切に」の学習をするとき、里山の下を流れる、谷戸川にも興味を示し、ゴミが捨てられ、汚れているように見える川をきれいにしようと、戸塚土木事務所の方にも連絡をして、一緒に川掃除を行った。このような活動を通じて、自分たちの環境や地域、そして何よりも関わる人によって自分たちを取り巻く社会や共生にも目を向けられるようになってきた。

（2）単元の意図【環境・福祉・まちの特色】
里山の活動を通して、自然が人間どう関わっているか、そして自分たちがそこにどう関わって行くかを様々な人に教えていただきながら自分たちに住むまちや人との視野を広げていきたい。具体的には、里山の植樹を手伝ってくれる、進学団の学生さん（障害のある方達が作る木）や植樹の方法を教えてくださるドングリ博士、そして川掃除を手伝ってくれる土木事務所の方や保護者の方、草刈りを手伝ってくれた、地域の方（敬老会・グリーンクラブの人）と関わることで、地域の福祉にも目を向けさせたい。
3-2さん绘

深谷台の

里山へようこそ

また来てね。

これは、やっと川から
見た里山の写真です。
今は冬なので、
木に葉がありません。
里山に雪がふったり
おち葉がおちたか
とてもきれいです。

やじるしさかついて
いる所には
そっぎょうせい
の作った門があります。
里山には、学校のシンボル、サルトリイバラがありません。

川のことを、カンバくんに話すために、「谷戸川」ぐらいで
がんばんにしてくれた。

おばさんも川を大切にしてくださいね。
たまゆーおばさんにおっかけた部
にいるので見てください。

これは冬の落ち葉の
ようですね。
とてもたくさんの落ち
で葉はのカーブみ
のようです。

これは、土が流れを
おさえるために
作ってもらったね。
これからへんこねへ。
会を書くにこいます。

これは、6年生の作ったものです。
6年生は、里山にいって
ここへ、ということ
赤い「」のところにい
とりあえずあります。これはかん
せいもしたというところ

この川を見たきたい
めは、ですよがうかが
ないが、ええと気をつけ
たまゆーさんですええかごる
里山ガイドマップ

かいだんを上ると
いったけの木、こなれた
ピンがたくさんあり
ます。いったけの木は、
くさった木をもって、こ
ろをつって、それを
おいておくとし
ただけがなっています。

この里山は今の中学生
と、小学5年生、6年生の
ときにも作りました
ば、この山と
いう自然を大切に
しているように、みな
さんもなにかしら自
然を大切にして
みてください。

入口に入っすぐに
なりには、かだんが
ありそこには冬の花
を植えるしました。

おののかいだんをお
りと、谷戸川や町が
みえますかいたりの
下には、サルトリバ
ラの門がありサルト
リバラが門とい
ています。